

「2015日本パッケージングコンテスト」で 小物部品包装用ダンボール箱『“感嘆”開閉BOX「PON-PA」』が 最高位の「ジャパンスター賞 経済産業大臣賞」初受賞

TOTO株式会社

TOTO株式会社(本社：福岡県北九州市、社長：喜多村 円)の小物部品包装用ダンボール箱『“感嘆”開閉BOX「PON-PA」』が、公益社団法人日本包装技術協会が主催する「2015日本パッケージングコンテスト」において、最高位の「ジャパンスター賞 経済産業大臣賞」を受賞しました。TOTOは同コンテスト15回目の受賞となり、経済産業大臣賞の受賞は初めてとなります。

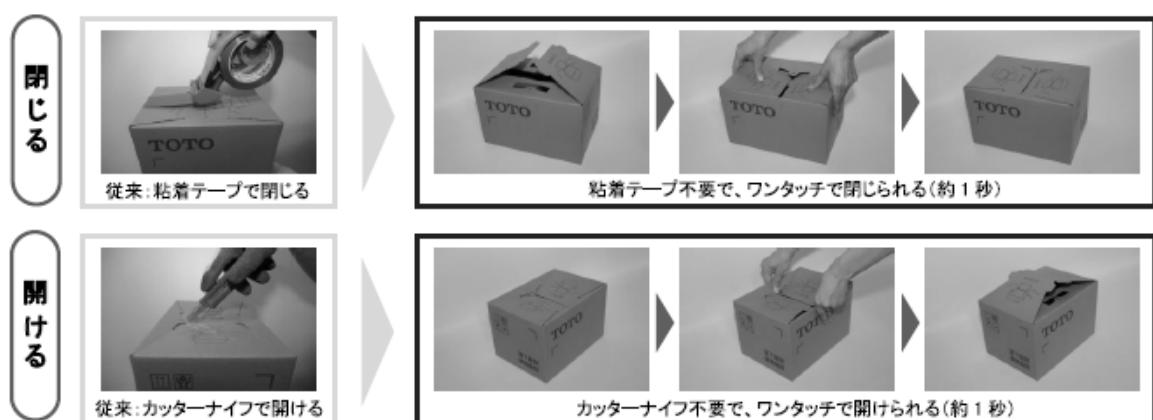


“感嘆”開閉BOX「PON-PA」

同コンテストは、日本のパッケージ技術の最高水準を決定するもので、材料、設計、技術、デザイン、ロジスティクス、販売促進、アイデア、環境対応、適正包装等あらゆる機能からみて年間の優秀作品を選定するものです。受賞すると、アジアスター・コンテスト(主催：アジア包装連盟)、ワールドスター・コンテスト(主催：世界包装機構)への出品資格が得られます。

受賞した「PON-PA」は、粘着テープ・カッターナイフ不要で、ワンタッチで閉める・開けることができる画期的なダンボール箱です。本来の包装機能を維持したまま、①開閉時の作業時間を短縮、②カッターナイフ不要により安全性が向上、③粘着テープ不要により単一素材化され分別廃棄性が向上したことにより、省資源、環境への配慮が最も優れているとして、今回の最高位の受賞となりました。TOTOは「TOTOグローバル環境ビジョン」のもと、包装においても環境貢献に積極的に取り組んでまいります。

受賞パッケージ『“感嘆”開閉BOX「PON-PA」』について



フタ部材(内フラップ・外フラップ)の形状を工夫し、内フラップと外フラップが反発してかみ合うことで、しっかりと閉まります。閉める際にはフラップが

必要以上に落ち込まず、ロックが簡単にかかります。開ける際は、半円状の部分を押し込むことでロック解除され、簡単に開きます。

内フラップと外フラップが反発して
かみ合い、しっかりと閉まる。ロック機構：必要以上に落ち込みます、
ワンタッチでロック。閉じた後のフタ裏面。
しっかりとロックされる。

日本パッケージングコンテスト：TOTOの受賞歴

年度	受賞	名称	受賞のポイント
2000	ロジスティクス賞	多機能便座のリターナブル包装*	リターナブル包装
2001	電気・機器包装部門賞	一体形ウォシュレットの省包装	環境対応型包装
2002	ロジスティクス賞	多機能便座のリターナブル包装	リターナブル包装
	電気・機器包装部門賞	ローシルエットウォシュレットの機能包装*	施工性重視包装
2003	ロジスティクス賞	部品移送箱	リターナブル包装
2004	包装技術賞	ユニバーサリティバーティション*	包装構造
2005	適正包装賞	ペーパージョイント*	環境対応型包装
2006	適正包装賞	シンプルパッケージ	UD、CS 包装
2007	電気・機器包装部門賞	多数の拠点で流通可能なリターナブル包装*	環境対応型包装
2008	電気・機器包装部門賞	ウォシュレットの宙吊り包装*	包装構造
2009	【ジャパンスター賞】 日本貿易振興機構理事長賞	「TOTO ネオレスト」包装	包装構造
2010	【ジャパンスター賞】 公益財団法人日本生産性本部会長賞	「感嘆」施工の「壁掛け便器」包装***	包装構造
2011	適正包装賞	「包装材 50%OFF」省エネ包装*	環境対応型包装
	大型重量物包装部門賞	リモデル便器の「スリムワンパッケージ」*	包装構造
2012	【ジャパンスター賞】 経済産業省製造産業局長賞	タンク付きウォシュレットの地球と人にやさしい包装*	環境対応型包装 UD、CS 包装
2014	【ジャパンスター賞】 公益社団法人日本包装技術教教会長賞	だれでも簡単に組み立てられる「立体構造緩衝材」***	包装構造 環境対応型包装
	ロジスティクス賞	13ZJ タンク通い箱のテープレス封かん***	環境対応型包装
2015	【ジャパンスター賞】 経済産業大臣賞	「感嘆」開閉 BOX「PON-PA」	包装構造 環境対応型包装

*:「アジアスター・コンテスト」アジアスター賞も受賞

**:「アジアスター・コンテスト」アジアスター賞、「ワールドスター・コンテスト」ワールドスター賞も受賞（いずれも 2015 年度は未定）

【参考サイト】 公益社団法人 日本包装技術協会 <http://www.jpi.or.jp/>

グローバルで取り組む 6つのテーマ

水を大切に
資源を大切に
地球を守る
生物多様性を守る
地域社会のために

TOTOグローバル環境ビジョン

これまでの環境活動をよりグローバルに進化させるために策定したグローバル共通のビジョン。各々各地域の環境問題や社会課題と向き合い、6つのテーマで環境へのとりくみを推進し、創立以来、長年にわたり培ってきた『水』に関するノウハウを生かして、さらなる環境貢献へと発展させていきます。

詳しくは下記URLをご覧ください

<http://www.toto.co.jp/company/environment/vision/index.htm>